いつもここにいるよ。

I'll be right here.

E.T.

アメリカのある街に宇宙から謎の生命体が降り立つ。地球の植物サンプルを採集するのが目的だ。しかし、その姿を人間に発見されてしまったからさあ大変。慌てて宇宙船を発進させた一行だったが、1匹だけ取り残されてしまう。ある民家に身を隠したこの1匹は、その家に住む少年エリオットに出会う。“Extra-Terrestrial”略してE.T.と名付けられたこの生命体は、周囲と馴染めないエリオットにとって初めての友達と呼べる存在になる。しかし、どんな関係にも別れはつきもので、それは固い絆で結ばれたエリオットとE.T.にとっても同じだ。迎えにきた宇宙船に乗り込むE.T.が最後にエリオットの胸を指差して、覚えたての英語で囁くのがこの言葉だ。別れの言葉として「さようなら」でも「あばよ」でもなく「いつもここにいるよ」とは洒落た宇宙人だ。

宇宙からやってきた地球外生命体と、周囲と馴染めない少年エリオットの心温まる交流を描くヒューマン・ドラマ。まだあどけないドリュー・バリモアが、エリオットの妹役として出演している。